

株主の皆様へ Top Message

世のため人のために
常に新しい価値を生み出し
続ける企業でありたいと
考えています。



株主の皆様におかれましては、平素から格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。第152期第2四半期(2016年4月1日から2016年9月30日まで)における経営環境は、企業業績は底堅さを維持したものの、海外経済の減速や円高の進行、株価の不安定な動きなどを背景に、企業の景況感や個人消費は先行きが不透明な状況にあります。労働需給に関しても逼迫した状態が継続し、引き続き厳しい経営環境となりました。

このような環境の中、ヤマトグループは長期経営計画「DAN-TOTSU経営計画2019」および中期経営計画「DAN-TOTSU3か年計画STEP」の達

成に向けて、「バリュー・ネットワーキング」構想の推進と健全な企業風土の醸成を基本戦略とし、高品質で効率的な物流ネットワークの構築、グループ経営資源の融合による高付加価値モデルの創出に取り組みました。

業績面では、「宅急便コンパクト」や「ネコポス」のご利用窓口拡大や通販事業者様への拡販により、取扱数量・収益ともに好調に推移しました。また、グループ各社が連携して課題解決に当たるソリューション営業を積極的に推進した結果、営業収益、営業利益ともに、前年同期を上回りました。

2016年には、おかげさまで宅急便が40周年を迎えることができ、ヤマト

運輸は企業ブランド調査*で総合首位となりました。これもひとえに皆様からのご愛顧の賜物であると、深く感謝申し上げます。今後もヤマトグループは、常に新しい価値を生み続けることを大切にし、株主の皆様、お客様、社会、社員、全てのステークホルダーの満足度を高め、期待に応えていけるようグループ一丸となって努力してまいります。株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

*株式会社日経リサーチによる企業ブランド調査。

2016年12月

代表取締役社長 社長執行役員

山内 雅喜

第 2 四 半 期 の ポ イ ン ト

- 1 グループの経営資源を複合的に活用した新たな価値の創造
- 2 各地の行政との連携による、地域社会への貢献を推進
- 3 宅急便新サービスを活用した拡大する通販需要の取り込み

■決算ハイライト

	前第2四半期 (単位:億円)	当第2四半期 (単位:億円)	増 減 (単位:億円)	伸 率
営業収益	6,837	7,066	▲ 229	3.3%増
営業利益	180	209	▲ 29	16.4%増
経常利益	186	209	▲ 22	12.3%増
親会社株主に帰属する 四半期純利益	97	115	▲ 17	18.4%増